



2021年8月30日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
代表者名 代表取締役社長 福永 健司  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰  
(電話番号 03-6551-2601)

当社子会社の(株)ジェネティックラボにおける自己採取子宮頸がんHPV検査キットの  
太陽生命保険株式会社の『疾病予防サービス』への導入に関するお知らせ

当社子会社の株式会社ジェネティックラボ(代表取締役社長:福永健司、北海道札幌市、以下、「ジェネティックラボ」)が提供する子宮頸がん<sup>\*1</sup>リスクの自己採取HPV検査キット「パピックス」に関して、この度T&D保険グループの太陽生命保険株式会社(本社:東京都中央区 代表取締役社長 副島直樹 以下、「太陽生命」)の新たな『疾病予防サービス』として2021年9月1日から導入されることとなりましたので、お知らせいたします。

子宮頸がん検診の受診率は、欧米諸国の60~80%に対し、日本は約30%台にとどまっています。受診率が低迷する原因は、「時間がなくて病院に行けない」、「面倒だし気後れする」などの受診者の都合によるものが大きいと考えられています。

当検査では、子宮頸がんの原因となる発がん性HPV<sup>\*2</sup>の感染を検査するもので、自宅で簡単に調べることが可能であることから、子宮頸がんの早期発見の可能性を上げることが期待されます。

ジェネティックラボ及び太陽生命は、「子宮頸がんHPV検査パピックス」の推進を通じて、子宮頸がん検診を受診する方が増え、罹患の早期発見によって一人でも多くの女性が身体に負担の少ない適切な治療を受けることができるよう貢献してまいりたいと考えております。

#### ◆ご参考

##### ※1 子宮頸がん

子宮の入口の子宮頸部に発生するがんで、その多くにヒトパピローマウイルス(HPV:Human Papillomavirus)の感染が関連することが報告されています。子宮頸がんの罹患数は年間約10,000人(2018年)、死亡数は年間約2,900人(2019年)(国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報サービス、がん種別統計情報)です。子宮頸がん検診は非常に有効で、進行がんを防ぎ死亡を減らす効果が証明されています。

##### ※2 発がん性HPV

ヒトの皮膚や粘膜に感染するパピローマウイルスのことで、そのうちハイリスク型と呼ばれるものは子宮頸がんの原因になると考えられています。

以上